

4月29日：連休を前にVN指数は反発

ホーチミン市場のVN指数は1.17%高の1,366.8ポイントだった。出来高も増加した。

同指数は寄り付きで下げていたが、その後は少しずつ上昇し、およそ16ポイント高でこの日の取引を終えた。

本日の上昇は、SSI証券のアナリスト予想に反したものだ。予想では、VN指数の回復は遅れるとしていた。理由としてベトナムでは土曜日から連休（南部解放記念日とメーデーを含む4連休）を控えており、休場中に発生するかもしれない悪材料による影響を避けるべく、投資家は事前に利益確定売りをするとしていたからだ。

ホーチミン市場の売買代金は、前日比41%増の18兆7,700億ドン（8億1,742万米ドル）だった。

VN30指数では、組み入れ銘柄のうち21銘柄が上昇した。そのうち、アジア商業銀行（ACB）は5.48%高と上昇率でトップとなった。

またテクコムバンク（TCB）+4.02%、バオベトホールディングス（BVH）3.5%もそれぞれ上昇し、それに続いた。さらにビンコムリテール（VRE）+3.52%、モバイルワールドインベストメント（MWG）+2.9%もそれぞれ買われた。

その一方でVN30指数のうち、7銘柄が下落した。サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）-1.76%、ヴィエティンバンク（CTG）-1.6%が含まれた。

外国人投資家は合わせて890億ドンを買い越した。特にナムロン投資（NLG）+2.5%、ベトコムバンク（VCB）-0.74%に外国人投資家の買いが集まった。

ハノイ市場のHNX指数は1.56%高、UPCoM指数は1.58%高とともに上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正



確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。